

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表済事故において、製品に起因して
生じた事故かどうか不明であると判断した案件について

平成20年12月26日
経済産業省商務情報政策局
製品安全課製品事故対策室

消費生活用製品安全法(昭和48年法律第31号。以下「消安法」)第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故に係る公表において、製品起因か否かが特定できていない事故として公表した案件のうち別紙については、消費経済審議会製品安全部会『平成20年度第4回製品事故判定第三者委員会』における審議の結果、原因究明調査を行ったものの製品に起因して生じた事故かどうか依然として不明であると判断したので、製品安全に資する情報提供の観点から、不明の理由を付して公表することとします。

なお、事故原因は不明であるため、今後の事故の発生について注視し、必要に応じて対応を行うこととしています。

詳細は別紙のとおりです。

【参考】 消安法

(主務大臣への報告等)

第35条

消費生活用製品の製造又は輸入の事業を行う者は、その製造又は輸入に係る消費生活用製品について重大製品事故が生じたことを知ったときは、当該消費生活用製品の名称及び型式、事故の内容並びに当該消費生活用製品を製造し、又は輸入した数量及び販売した数量を主務大臣に報告しなければならない。

原因究明調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した理由
1	A200700113	平成19年6月4日	平成19年6月8日	電気洗濯乾燥機	TW-130VB	東芝株式会社	火災	家人が洗濯を開始し外出した後、火災が発生した。洗濯機のほか、脱衣所の壁、天井が焦げた。	神奈川県		調査の結果、他に発火源となるものがないことから当該製品からの出火が疑われるが、当該製品の電気部品、基盤、配線等からの発火の痕跡はなかった。 試験の結果再現はされなかったものの、ほこりがダクト内に溜まり、ヒーター熱で出火した可能性も考えられ、原因の特定には至らなかった。
2	A200700726	平成19年12月9日	平成19年12月18日	エアコン(室外機)	SRC25APV	三菱重工株式会社	火災	1階に設置されていた当該製品から煙と炎が燃えているのを通行人が発見した。家人は寝ておりエアコンは運転していなかった。	神奈川県		調査の結果、配線接続端子に短時間の火災熱では生じない溶着部分があることから、経年的な発熱の繰り返しにより、出火に至った可能性も推定されたが、事故時はエアコンが使用されていない、ファン側が著しく焼損しており、外部からの類焼とも考えられ、出火元かどうか、原因の特定には至らなかった。
3	A200700734	平成19年12月12日	平成19年12月20日	電気洗濯機	VH-45S	東芝家電製造株式会社	火災	当該製品周辺が出火元と思われる火災が発生した。火災の前に洗濯機を使用していたが、火災時は使用していなかった。	宮崎県		火災発生時当該製品は使用されていないかったが、事故品は焼損が著しく、詳細な調査ができなかったことに加え、事故品は既に廃棄されていたことから、原因の特定には至らなかった。 なお、同型式で同様な事故は起きていない。
4	A200700875	平成20年1月11日	平成20年1月24日	温水洗浄便座	TCF631	TOTO株式会社	火災 軽傷1名	煙の異臭に気がつきトイレを確認すると、当該製品が焼損していた。その際、家人が軽い火傷を負った。	熊本県		調査の結果、当該製品は焼損が著しく、詳細な調査ができなかったため、出火元かどうか、原因の特定には至らなかった。 なお、同型式で同様な事故は起きていない。
5	A200700890	平成20年1月18日	平成20年1月30日	電気こたつ	KY-836YFS	東芝ホームテクノ株式会社	火災 死亡1名 軽傷1名	当該製品が設置してあった部屋が火元と思われる火災が発生し、家人1名が死亡し、1名が軽い怪我をした。	大阪府		調査の結果、事故発見時の状況から長期間使用されていた当該製品付近から発火したものとみられるが、残存していたヒーター、モーター、内部配線等電気部品や電源コードからの発火の痕跡はなく、出火元かどうか、原因の特定には至らなかった。
6	A200700901	平成17年12月1日	平成20年1月31日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	V-SE700ELXW	株式会社日本ビネガーボトラーズ	火災 死亡2名	当該製品周辺から出火する火災が発生し、家人2名が死亡した。	熊本県		事故品は焼損が著しく、詳細な調査ができなかったことに加え、事故品は既に廃棄されていることから、原因の特定には至らなかった。 なお、同型式で同様な事故は起きていない。
7	A200701025	平成20年2月7日	平成20年2月22日	ドライヤー	EH790P-A	松下電工株式会社 (現 パナソニック電工株式会社)	火災	当該製品の置いてあった部屋が出火元と思われる火災が発生した。	千葉県		調査の結果、現場から回収された電源スイッチ、送風用モータなどの部品からは発火の痕跡は認められなかったが、焼失している内部配線類から発火したの可能性も否定できないことから、原因の特定には至らなかった。
8	A200701054	平成20年2月10日	平成20年2月29日	電気ストーブ	7FB	(株)デンソー	火災 死亡1名	火災が発生した。火災現場に当該製品あった。	新潟県		調査の結果、長期間使用されていた当該製品の電源コードが半断線状態となり、発火に至ったものであるが、使用状況に問題があったか、長期使用による劣化であるか不明であり、電源コードが半断線した原因の特定には至らなかった。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか 不明であると判断した理由
9	A200701112	平成20年2月23日	平成20年3月12日	生ごみ処理機	BGD-V18	日立多賀テクノロジー株式会社	火災	火災が発生し、当該製品等が焼損した。	神奈川県		調査の結果、残存していたヒーター、モーター、内部配線等電気部品や電源コードからの発火の痕跡はなかったが、事故品は焼損が激しく、金属部分以外はほとんど焼失しており、原因の特定には至らなかった。
10	A200701120	平成20年3月3日	平成20年3月14日	エアコン(室外機)	CSH-S226G	株式会社コロナ	火災	1階の地面に設置されていた当該製品付近から出火する火災が発生し、当該製品と接続配管、配線及び近傍に設置されていた別の室外機が焼損した。	三重県		調査の結果、コントロールユニットの焼損が激しく、この付近からの出火した可能性も考えられるが、事故当時、当該製品のスイッチは切られていたとのことであり、事故品の焼損が著しくて当該製品からの出火と断定できず、事故原因の特定には至らなかった。
11	A200701178	平成20年3月14日	平成20年3月28日	エアコン	AY-219W	シャープ株式会社	火災	火災が発生した。現場周辺に当該製品があった。	愛知県		調査の結果、焼損状況から運転中のエアコン付近からの出火と推定されるが、現場から回収された部品からは発火の痕跡は認められず、また、他の家屋内の配線類も焼損して回収されていないものがあることから、出火元かどうか、原因の特定には至らなかった。
12	A200701188	平成20年1月27日	平成20年3月31日	ガラス製容器	91-B	株式会社ニトリ	重傷1名	当該製品の蓋を開めようとしたところ、ガラスが砕けて右手親指に裂傷を負った。	千葉県		調査の結果、当該製品の口部付近に破断の起点があることが確認された。フタにはゴムパッキンがついており、フタの開閉の際に本体に傷をつけやすいとはいえないが、もともと傷がついていた可能性も否定できないことから、原因の特定には至らなかった。
13	A200800007	平成19年12月31日	平成20年4月1日	水槽用サーモスタット付ヒーター	オートヒーターミニミニ50	川竹エレクトロニクス株式会社	火災	留守宅で火災が発生し、当該製品を含む水槽周辺と設置していた出窓及び壁の一部を焼損した。	岡山県		調査の結果、事故品を水槽内に設置した際、取扱説明書で禁止されている、当該製品をななめに設置する状況であったことに加えて、水量管理が適切に行われていなかったことから、安全装置が働きにくい状態に置かれたため、ヒーター内部の温度が高まった。この影響で、基板部の電源コード芯線のハンダ付け部付近で異極間放電に起こったものとみられるが、発火するまで異極間放電が継続するに至った原因は特定できなかった。
14	A200800024	平成20年3月27日	平成20年4月4日	コンセント付洗面台	M601W(M601WH・M60W・M60WH)	株式会社ベルテクノ(現 株式会社ベルキッチン)	火災	異臭に気がつき、洗面所を確認すると、当該製品が燃えているのを発見した。	大阪府		調査の結果、当該製品収納ボックス部分は焼損しているが、現場から回収された部品からは発火の痕跡は認められなかった。スイッチ部分の焼損が激しく、スイッチ部分に液体等が入り接触不良になった可能性もあるが、同型品を調査したところ問題はなかった。なお、当該製品のスイッチ部分は焼損し回収されていないため、確認できず、原因の特定には至らなかった。
15	A200800033	平成20年3月29日	平成20年4月8日	電気がま	SR-A10NDL	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品周辺が燃えていることに気づき消火した。当該製品の電源は切られており、ガスこんろの横に置かれていた。	大阪府		調査の結果、当該製品のみが焼損しており、外装の焼損が激しく、近傍に置かれたガスこんろからの炎等による類焼の可能性も考えられるが、こんろは使用されていなかったとのことであり、原因の特定には至らなかった。
16	A200800100	平成20年4月16日	平成20年4月25日	電気フライヤー	EFK-A10	象印マホービン株式会社	火災	当該製品をすぐに使用できるよう電源を入れ、180度に設定した状態にしていたところ、火災が発生した。壁と事故品の間にタオルを挟んで使用していた。	長崎県		調査の結果、サーモスタットや温度ヒューズが搭載されている当該製品から炎が上がったものであり、温度ヒューズは溶断していた。しかし、当該製品のサーモスタットの動作に異常はなく、条件を変えた複数の再現試験でも再現はされなかったため、温度ヒューズが溶断し、発火する状況に至った理由が不明であることから、原因の特定には至らなかった。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生 都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか 不明であると判断した理由
17	A200800160	平成20年4月16日	平成20年5月15日	介護ベッド用手すり	KA-095	パラマウントベッド 株式会社	重傷1名	当該製品に掴まり、ベッドから立ち上がろうとした際、転倒し重傷を負った。	埼玉県		調査の結果、ベッドに適切に固定された当該製品は、立ち上がるために当該製品に相当な荷重をかけた場合、荷重に応じた緩慢なアーム部の変位は確認されるものの、ぐらつきを生じさせるほどの急激な変位は認められなかった。また、アーム部へ荷重した場合、アーム部反対側の差し込み部が1cm程度持ち上がることが確認されたが、一度持ち上がるとその状態で維持されることが確認された。結論としては、わずかなアーム部の変位が転倒の原因であると特定するには至らなかったことから、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した。
18	A200800203	平成20年5月6日	平成20年5月29日	シュレッダー	SCA-45H	株式会社オーヤマ	火災	火災が発生し、火災現場に当該製品があった。	群馬県		調査の結果、焼損して一部回収できなかった電源コード以外から発火の痕跡は認められなかったが、焼損し回収されていない電源コードの欠損部分からの出火の可能性も否定できないことから、原因の特定には至らなかった。
19	A200800205	平成20年5月20日	平成20年5月29日	電気洗濯機	JW-K42A	ハイアールジャパン セールズ株式会社	火災 軽傷3名	当該製品付近から出火したと思われる火災が発生した。	福岡県		事故品は焼損が著しく、既に廃棄されており、使用状況も不明であることから、出火元かどうか、原因の特定には至らなかった。
20	A200800357	平成19年12月21日	平成20年7月4日	浴槽用温水循環器 (24時間風呂)	BP-V	昭和鉄工株式会社	火災	家屋が全焼する火災が発生し、出火現場から当該製品が焼損した状態で発見された。	北海道		調査の結果、当該製品の電源コードが断線した箇所に溶融痕があり、当該箇所から出火したものと思われるが、焼損が著しく、断線に至った原因は特定できず、事故原因の特定には至らなかった。